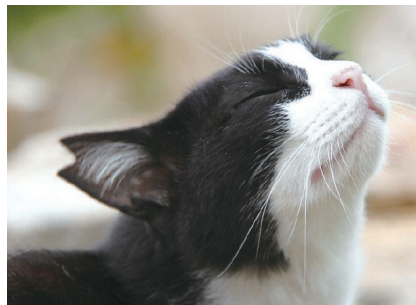


## NEWS 地域猫活動をご存じですか？



「地域猫活動」とは、野良猫が増えないようにTNR（捕獲・不妊去勢・返還）を行い、ボランティアが元の場所で管理する取り組みです。板橋区では48名のボランティアの方々が活動していますが補助金が少なく負担が大きく支援の強化が求められています。私も人と猫が共生できるよう取り組んでいきます。

## NEWS 公園利用の幅を広げる取り組みが進んでいます。

板橋区では、公園利用の幅を広げるため、公園でのボール遊びに関する調査が9月と10月に実施され、他の利用者や近隣住民に配慮した遊び方が検討されています。また、10月と11月には高島平緑地で社会実験イベントも開催され、さまざまな年代や立場の人が過ごしやすい公園の在り方が模索されています。



## プロフィール

● 昭和60年埼玉県鴻巣市生まれ ● 同県立熊谷女子高卒 ● 獨協大学卒(経営学科)  
住宅営業・マンション管理業など〈人の暮らしに寄り添う〉仕事に15年従事。宅地建物取引士・管理業務主任者。出産・子育てを機に街や行政に興味を持ち、育休中に南雲由子事務所のママインターンとして活動。3・6・8歳児の子育て中。趣味は、アウトドア。2023年初当選。現在1期目。

ご意見、お困りのことを聞かせてください。

私の想い ぜひご覧ください

板橋区議会議員 大野ゆか事務所  
板橋区蓮根 3-4-5-1F (「肉の万世」となり)  
TEL: 03-6454-5950  
https://yukaono.net



LINE



想い映像



公式HP



## 板橋区の不登校支援を、みんなで考えよう！

全国で不登校の小中学生が34万人を超える中、2024年8月に、板橋区が不登校支援の民間企業と提携したとの報道が波紋を呼び、区議会でも様々な角度から議論されました。「不登校」という現象は現代社会に対する子どもからのアラートとも言われています。私自身も学びながら取り組んでいきます。

板橋区  
不登校支援会社の  
報道について

8月5日、板橋区が不登校支援会社「スダチ」と連携しオンライン支援を発表。しかし、スダチの「平均3週間で再登校可能」とする方針や高額な料金に対し、保護者や支援団体から不安の声が上がりました。これを受け板橋区教育委員会は提携を撤回し、区の方針は「登校を目標とせず、社会的自立を支援する」ことを再確認しました。



出典：特定非営利活動法人  
多様な学びプロジェクト  
ホームページより

note

1

## 板橋区の方針は？

板橋区では、2020年に不登校対応のグランドデザインを策定し、その一環として「学校における居場所推進事業」を進めています。5月には、教室に入れない生徒や一時的な休息が必要な生徒のための「安心して過ごせる居場所」を提供するモデル校を視察しました。→ 詳しくは中面へ



note

2

## 議会でも質問しました

9月の第3回定例会一般質問では、「板橋区の多様な学びを実現する仕組みや体制」について質問をしました。私は全国の地方議員による「学びの多様化議員連盟」にも所属しています。この連盟は、「全ての子どもが自分に合った学びを得る」ことを目指し、不登校や発達課題、生活困窮、外国ルーツの子どもたちへの支援を研究・提言することを掲げています。今後も学びを区に提案していきます。



|| 大野ゆかの5つの政策 ||

# 未来へ続く板橋をつくる

毎月1回タウンミーティングも開催しています。

## ↑「普通の人」の声が届く政治へ

オンラインを活用し政治をわかりやすく伝えます。しがらみがない立場、身近な存在として、民間の意見を代弁します。

↑ 頂いたご意見は、議会に届けます。

多様な学びの実現に向けて、一般質問しました。

## 生きづらさを仕組みから変える

さまざまな働き方に合わせられ、孤立やひきこもりに寄り添う社会に。また多様性が認められる未来へ、小さな声を代弁します。

↑ 住民参加の身近な支援合いの活動を応援しています。

## 安心、安全に暮らせるまちへ

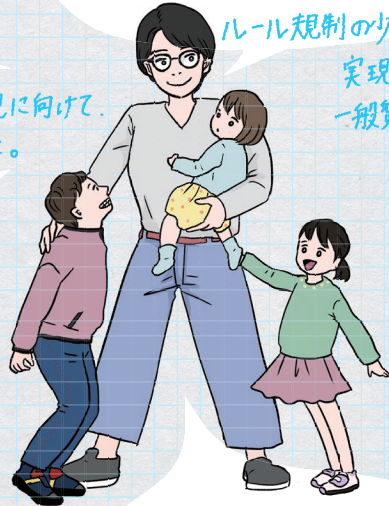
防災対策を充実。安心して年を重ねられる地域の仕組みと支える家族への支援を実現します。いざというときに助け合える多世代地域コミュニティの醸成を支援します。

↑ 空き家と市民団体をマカンブする活動を応援しています。

## すべての子供が自分らしく幸せに育つまちへ

保育の質と保育・教育環境の整備、不登校支援、子どもの貧困対策、オンライン学習の充実、産後ケアの充実など子育て「当事者」目線で実現します。

↑ ルール規制の少ない遊び場の実現に向けて、一般質問しました。



## 10年先も住み続けられる住まい

民間で住まいと暮らしに寄り添い15年働いてきた経験から、マンション管理やシニアの居住支援。障がいがある方の親なき後の住まい、また空き家活用など住まいの政策に取り組みます。

↑ 住宅政策審議会に所属しています。



# 板橋区の不登校支援を、みんなで考えよう!

TOPIC 板橋区内のモデル校を視察しました。



今年5月、全国の地方議員による「学びの多様化議員連盟」の仲間の議員を板橋区に招いて、区内のモデル校を視察しました。「安心して過ごせる居場所」を提供するもので、他自治体からも注目されています。モデル校以外にも、区内の全中学校で校内の居場所を設けていますが、人的配置がない課題があります。区に対して改善要求をしています。

TOPIC 学びをサポートする居場所ご存じですか?

板橋区には公的施設の居場所がいくつかあります。年齢制限や数の少なさに課題が多いことがわかります。特に小学校低学年の常設の居場所が図書館を除き全くない状況です。

・フレンドセンター	小4から中3まで利用可能	平日9時から15時
・フレンドセンター成増分室	小4から中3まで利用可能	平日9時から15時
・まなぼーと成増i-youth	中学生から利用可能	平日13時から21時
・まなぼーと大原i-youth	中学生から利用可能	平日13時から21時
・学びiプレイス	中高生利用可能	平日18時から20時(開催場所により変動)



詳細はこちら

## COLUMN プレーパークにご興味ある方募集中です!!

子どもたち自由な発想で遊べる空間「プレーパーク」をご存知ですか? 私は今の時代だからこそ必要だと思っています。まずは、常設ではなく定期的な開催から、一緒に考えてくださる方を募集中です。